



この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙を使用しています。



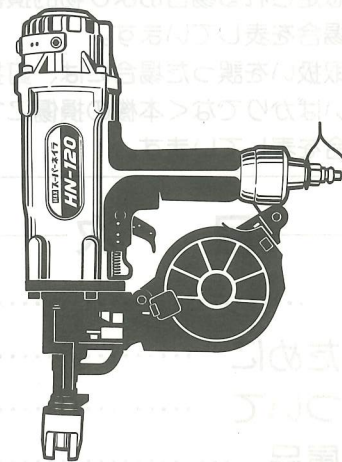
本社・営業部	〒103 中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8121(代)
東京支店	〒103 中央区日本橋箱崎町6-6	TEL(03)3669-8118(代)
札幌支店	〒060 札幌市中央区大通り東6-12-8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒983 仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)236-4121(代)
名古屋支店	〒461 名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8531(代)
大阪支店	〒553 大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)444-2031(代)
広島支店	〒733 広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812 福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)411-5416(代)
盛岡営業所	〒020 盛岡市仙北町下野18-1	TEL(019)635-5575(代)
宇都宮営業所	〒321 宇都宮市築瀬町字榎内2313	TEL(0286)36-3012
柏営業所	〒277 柏市若柴297-12	TEL(0471)32-1500
多摩営業所	〒187 小平市小川町2-1253	TEL(0423)44-6268(代)
川崎営業所	〒213 川崎市高津区久地597-1セブンエーステ久地1F	TEL(044)844-4700(代)
浜松営業所	〒433 浜松市高丘町150-1	TEL(053)439-3300(代)
岐阜営業所	〒501-61 羽島郡岐南町徳田4-274	TEL(058)276-6551(代)
泉州営業所	〒596 岸和田市土生町2-30-39	TEL(0724)36-2211(代)
神戸営業所	〒658 神戸市東灘区田中町3-3-3	TEL(078)412-6220(代)
北九州営業所	〒802 北九州市小倉北区三朗丸3-6-20久野ビル1F	TEL(093)931-3733
南九州営業所	〒891-01 鹿児島市東谷山6-17-7	TEL(099)269-5347
新潟マックス(株)	〒955 三条市東裏館2-14-28	TEL(0256)34-2112(代)
水戸マックス(株)	〒310 水戸市松ヶ丘2-3-27	TEL(029)255-3761(代)
群馬マックス(株)	〒379-22 佐波郡赤堀町大字今井543-2	TEL(0270)62-1123(代)
埼玉マックス(株)	〒331 大宮市日進町3-421	TEL(048)651-5341(代)
千葉マックス(株)	〒284 四街道市大日1870-1	TEL(043)422-7400(代)
横浜マックス(株)	〒241 横浜市旭区さちが丘7-6	TEL(045)364-5661(代)
長野マックス(株)	〒390 松本市笹部1-6-25	TEL(0263)26-4377(代)
長野営業所	〒381-22 長野市青木島1-35-1	TEL(0262)85-6740(代)
静岡マックス(株)	〒422 静岡市敷地1-3-26	TEL(054)237-6116(代)
金沢マックス(株)	〒921 金沢市森戸2-15	TEL(0762)40-1871(代)
富山営業所	〒930 富山市上飯野字樋向割10-8	TEL(0764)52-0182(代)
福井営業所	〒910 福井市和田東2-1711	TEL(0776)27-3378(代)
京滋マックス(株)	〒612 京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061(代)
兵庫マックス(株)	〒673-04 三木市大村高柳109-1	TEL(07948)3-2121(代)
岡山マックス(株)	〒700 岡山市野田3-32-28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス(株)	〒761 高松市上天神町761-3	TEL(0878)66-5599
徳島営業所	〒770 徳島市末広1-4-25	TEL(0886)23-0286(代)
松山営業所	〒790 松山市天山町28-1	TEL(089)913-0608(代)
マックスサービス(株)本社	〒330 埼玉県大宮市宮原町2-99-5	TEL(048)667-6448(代)
マックスサービス(株)大阪	〒553 大阪市福島区玉川1-3-18	TEL(06)446-0815
マックスサービス(株)名古屋	〒461 名古屋市東区徳川1-11-23	TEL(052)935-8210
マックスサービス(株)福岡	〒812 福岡市博多区上牟田1-5-1	TEL(092)451-6430
マックスサービス(株)広島	〒733 広島市西区南観音7-11-24	TEL(082)291-5670
マックスサービス(株)仙台	〒983 仙台市若林区卸町東2-1-29	TEL(022)237-0778(代)
マックスサービス(株)札幌	〒060 札幌市中央区大通東6-12-8	TEL(011)231-6487

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-22-8358
月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

マックス釘打機 スーパーネイル HN-120

取扱説明書



警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用の際は、必ず保護メガネを着用する。
- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。
- 使用しない時、また、調整・修理・ネイル装填の時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。
- 射出口を絶対に人体に向けない。
- 移動する際は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。
- フック使用の時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。
- 本機使用の際は、スーパーネイル専用エアコンプレッサ、専用エアホースを必ず使用する。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。



このたびは、マックス釘打機スーパーネイラHN-120をお買い上げいただきましてありがとうございます。本機のご取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

⚠ 警告：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

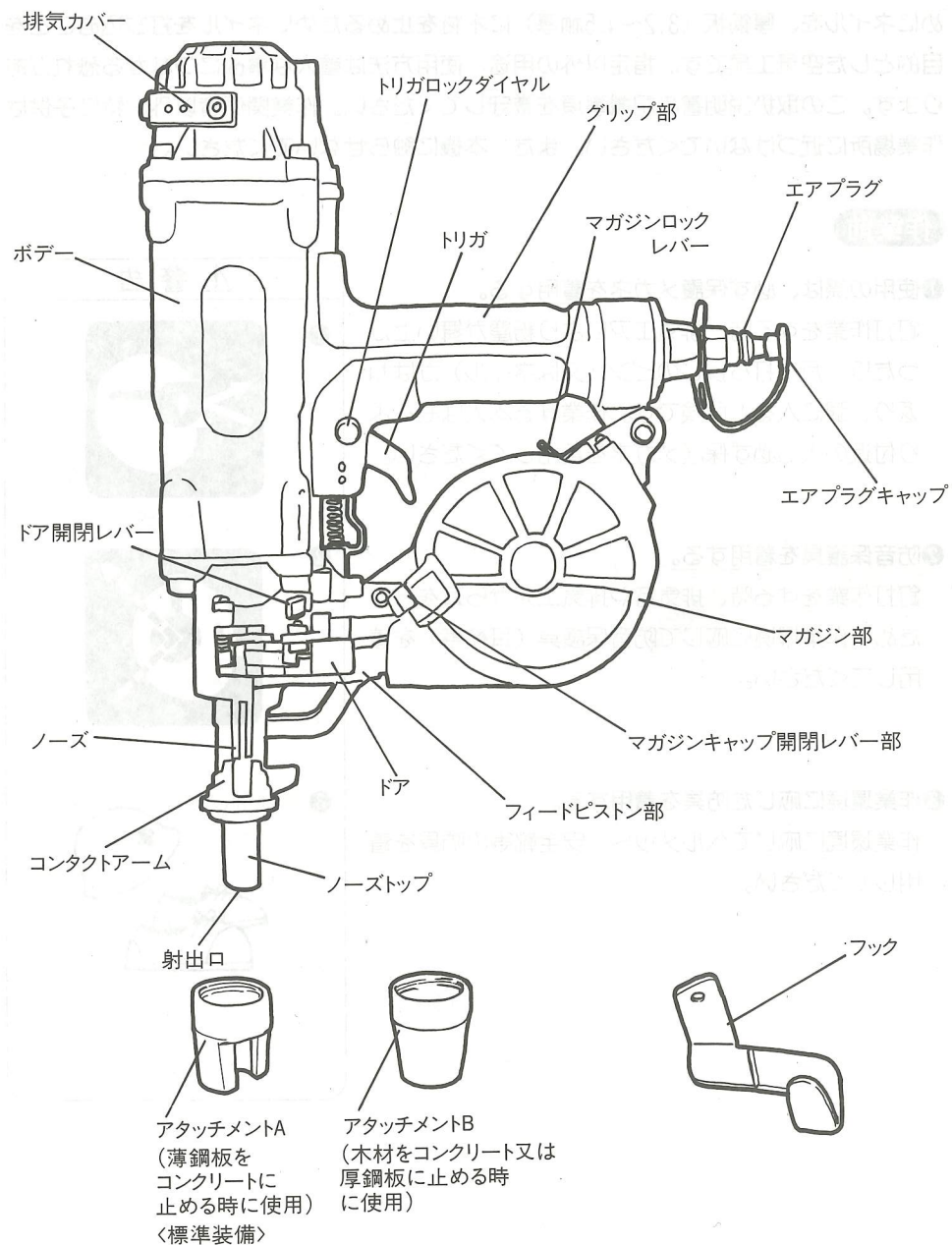
⚠ 注意：この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。
また、取扱いを誤った場合には、釘打機本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

目次

1. 各部の名称	1
2. 安全作業のために	2
3. 安全装置について	10
4. 仕様及び付属品	12
5. 用途とピン、ネイル選定基準	14
6. 使用方法	15
7. 配管についての注意	19
8. エアホースの接続	20
9. アタッチメントBの交換方法	21
10. フックの取り付け方	22
11. ピン又はネイルづまりの直し方	23
12. 性能を維持するために	24
13. トラブル時の確認事項	26

全国販売拠点、サービス拠点一覧

1 各部の名称



⚠ 警告
安全作業のために

本機は、コンクリートに薄鋼板を止めるためにピンを、コンクリートに木材を止めるためにネイルを、厚鋼板（3.2～4.5mm厚）に木材を止めるためにネイルを打ち込むことを目的とした空気工具です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

作業前

①使用の際は、必ず保護メガネを着用する。

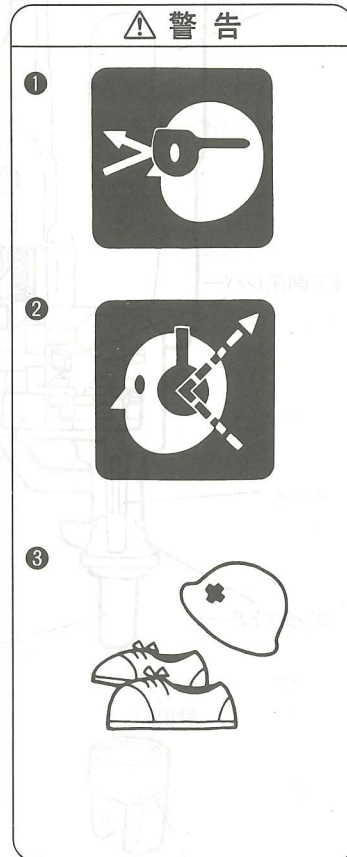
釘打作業をする時、排気エアにより粉塵が舞い上がったり、万一反撃のピン（又はネイル）がはね返り、眼に入ると危険です。作業する本人はもとより付近の人も必ず保護メガネを着用してください。

②防音保護具を着用する。

釘打作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

③作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。



⚠ 警告
安全作業のために

④エアホース接続前に必ず点検する。

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

1. ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
3. コンタクトアームがスムーズに動くか。
4. トリガをロック（引けないように固定）できるか。
（11ページ参照）

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービスへ点検・修理に出してください。

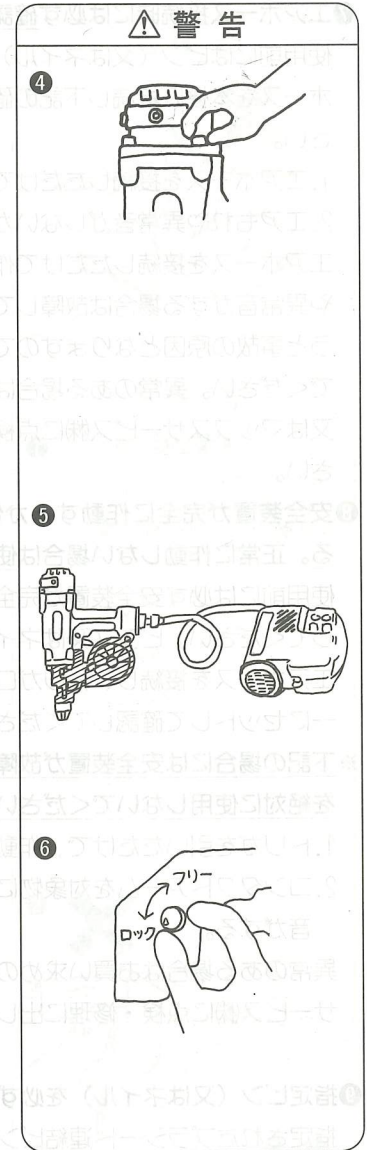
⑤本機使用の際は、スーパーネイル専用エアコンプレッサ、専用エアホースを必ず使用する。

本機は使用性能を向上させるため、使用圧力を従来の釘打機より高く設定しております。本機使用に際しては、専用エアコンプレッサ、専用エアホースが必ず必要です。専用エアコンプレッサ、専用エアホース以外は絶対に使用しないでください。

⑥エアホース接続の時には必ず厳守する。

エアホースを接続するときは誤って作動させないよう下記のことを必ず守ってください。

1. トリガをロック（引けないよう固定）する。
2. コンタクトアームに触れない。
3. コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
4. 射出口を人体に向けない。



⑦エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはピン（又はネイル）を装填しないでエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

1. エアホースを接続しただけで作動音がしないか。
2. エアもれや異常音がしないか。

エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がある場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス欄に点検・修理に出してください。

⑧安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ピン（又はネイル）を装填しないでエアホースを接続し、トリガロックダイヤルをフリーにセットして確認してください。（11ページ参照）

※下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

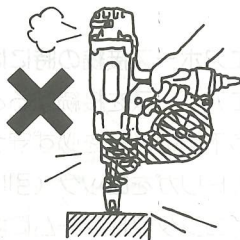
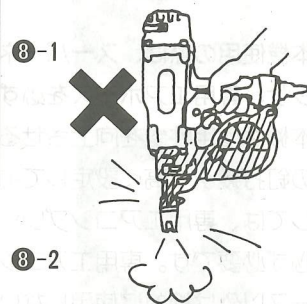
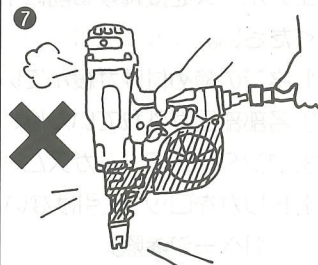
1. トリガを引いただけで、作動音がする。
2. コンタクトアームを対象物に当てただけで、作動音がする。

異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス欄に点検・修理に出してください。

⑨指定ピン（又はネイル）を必ず使用する。

指定されたプラシート連結ピン（又はネイル）と異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のピン（又はネイル）をご使用ください。（13ページ参照）

⚠ 警告



⑩作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

作業中

①使用空気圧を必ず守る。

本機の使用空気圧範囲は15~25kgf/cm² (1.47~2.45 MPa)です。打込対象物に合わせ、通常15~20kgf/cm² (1.47~1.96MPa)の範囲で調整し、使用してください。打込対象物が硬く、ピン（又はネイル）が浮く時のみ20~25kgf/cm² (1.96~2.45MPa)の範囲で調整し、使用してください。20~25kgf/cm² (1.96~2.45MPa)の範囲で長期間使用し続けると著しく本機の耐久性が悪くなります。また、いかなる場合でも25kgf/cm² (2.45MPa)以上では使用しないでください。

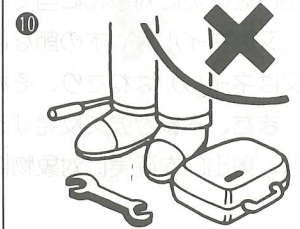
②射出口を絶対に人体に向けない。

射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですから教えてください。同時に打ち損じたピン（又はネイル）が人に当たらないよう作業中は付近の人に注意をはらってください。

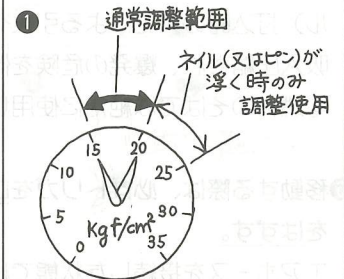
③向い合わせの釘打ちは絶対にしない。

向い合って釘打作業をすると、打ち損じたピン（又はネイル）が前の作業者にあたり、思わぬ怪我をすることがありますので、向い合わせの釘打ちは絶対にしないでください。

⚠ 警告



⚠ 警告



警告 安全作業のために

④ 射出口を確実に対象物に当てる。

射出口を確実に対象物に当てないと、一度打ったピン（又はネイル）や木の節などに当たった場合ピン（又はネイル）はねたり、それたりして大変危険です。また、本機が強く反発することもあり危険ですから、射出口を確実に対象物に当ててください。

⑤ 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うとピン（又はネイル）打込時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。

⑥ 移動する際は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

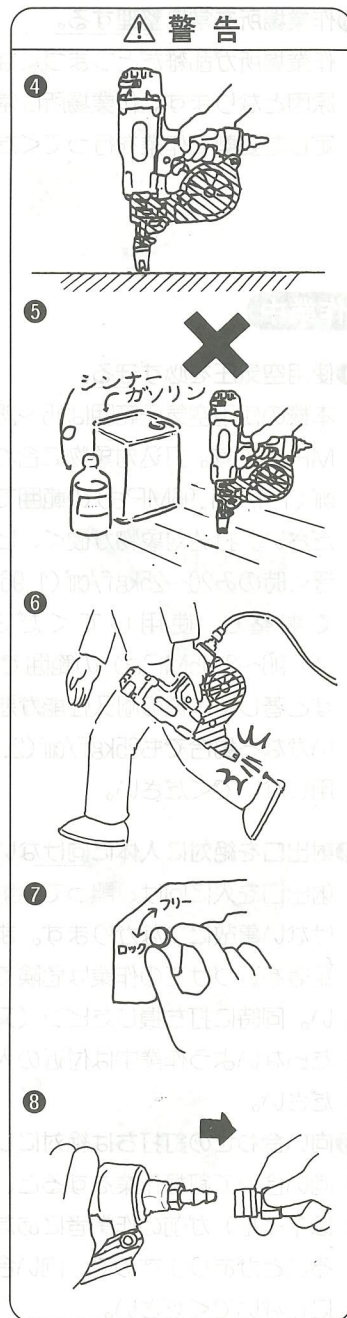
エアホースを接続した状態でトリガを引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。移動する際はトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

⑦ フック使用の時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

フック使用の時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

⑧ 作業中断時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

作業中のピン（又はネイル）装填、調整及びピン（又はネイル）づまりを直すときは誤ってピン（又はネイル）を発射すると危険ですから、必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。



警告 安全作業のために

⑨ 異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

作業後

① 作業終了時には必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

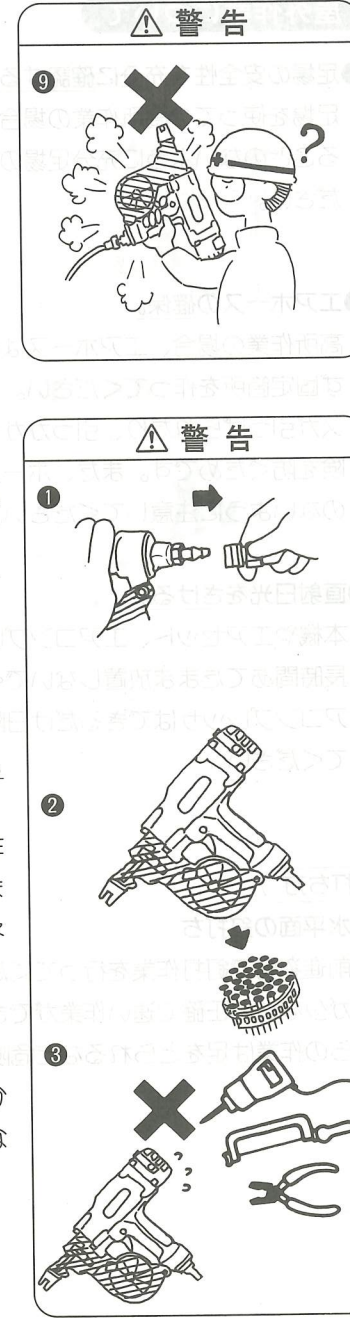
作業終了時には、必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

② 作業終了時には必ずピン（又はネイル）を抜き取る。

ピン（又はネイル）をマガジン内に残しておく、次に使用するときうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、思わぬ事故につながる可能性があります。作業終了時には必ずマガジン内のピン（又はネイル）を抜きとってください。

③ 本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。



⚠ 警告
安全作業のために

屋外作業について

① 足場の安全性を十分に確認する。

足場を使つての高所作業の場合、釘打作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。

② エアホースの確保。

高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引っかかったりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれのないように注意してください。

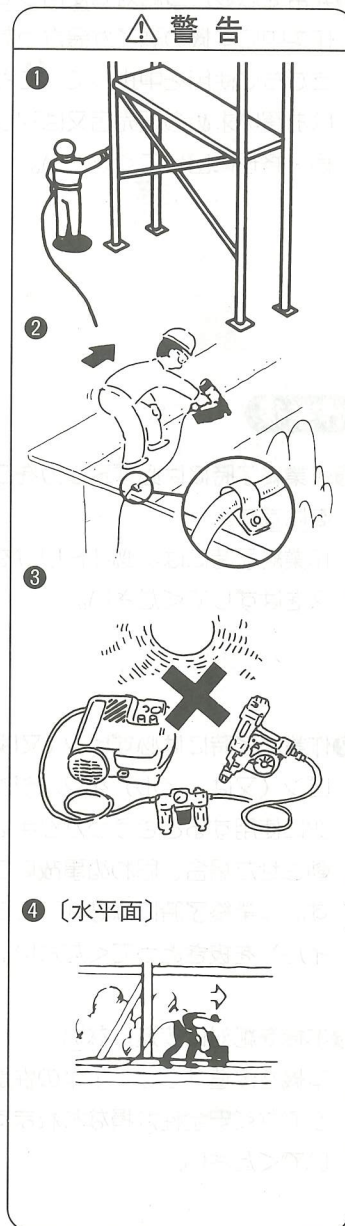
③ 直射日光をさける。

本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。

打ち方

④ 水平面の釘打ち

前進姿勢で釘打作業を行ってください。安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。



⚠ 警告
安全作業のために

⑤ 垂直面の釘打ち

本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へ釘打作業を行ってください。疲労の少ない作業ができます。

※内、外壁の同時打ちは絶対にしないでください。

⑥ 傾斜面の釘打ち

下から上に向かって前進姿勢で釘打作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはず危険があります。

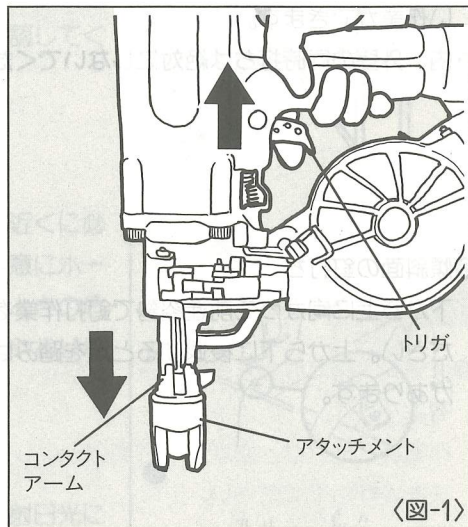


3 安全装置について

釘打作業の安全と仕上りの美しさを確保するため、本機には次のような安全装置がついています。

●メカニカル安全装置

これはコンタクトアームとトリガが同時に作動しないと発射しないメカニズムです。つまりトリガを引いただけではピン（又はネイル）は発射せず、また、コンタクトアームを打込対象物に当てただけでもピン（又はネイル）は発射しません。コンタクトアームを対象物に当て、トリガを引くという動作が重なってはじめてピン（又はネイル）は発射されます。なお、トリガを先に引き、コンタクトアームを打込対象物に当ててもピン（又はネイル）は発射されません。



⚠ 警告

●安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ピン（又はネイル）を装填しないでエアホースを接続し、トリガロックダイヤルをフリーにセットして確認してください。

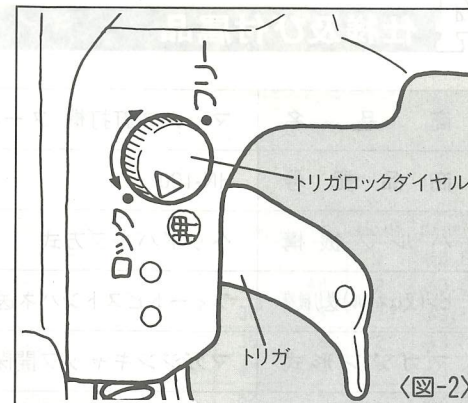
※下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

1. トリガを引いただけで、作動音が出る。
2. コンタクトアームを打込対象物に当てただけで、作動音が出る。

異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

●トリガロック装置

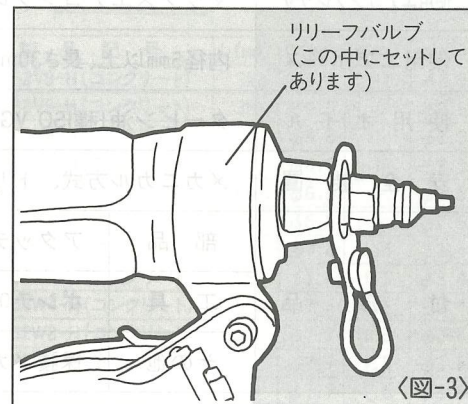
本機にはより安全に作業していただくためにトリガロック装置を標準装備しています。トリガロック装置とは、作業しないときに本機の使用者の意志によってトリガをロック（引けないように固定）することにより作動できないようにすることができ装置です。



ネイルを打っているとき以外はトリガロックダイヤルを押し回し、ロックの位置にセットしエアホースをはずしてください。作業を始める場合はトリガロックダイヤルを押し回しフリーの位置にセットしてください。

●リリースバルブ

本機の使用空気圧範囲は15~25kgf/cm² (1.47~2.45MPa) です。25kgf/cm² (2.45MPa) を超える圧力では使用しないでください。異常高圧で使用するとリリースバルブより音を発し減圧します。その場合はただちに作業を中断し、エアホースをはずして打込圧力を再調整してください。また、エアコンプレッサ・空気経路を点検してください。なお、本機のリリースバルブはボデー部後方本体に内蔵しています。

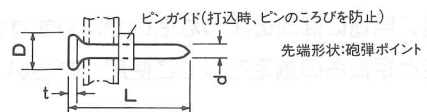
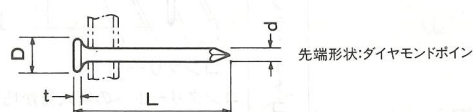
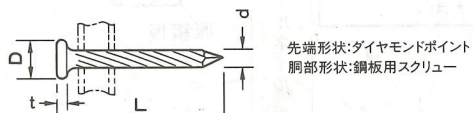


4

仕様及び付属品

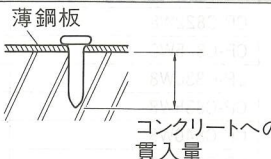
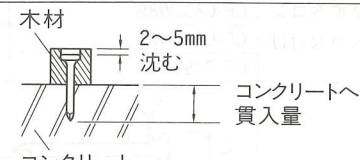
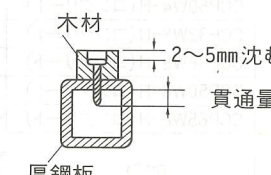
商品名	マックス釘打機 スーパーネイラ	
商品記号	HN-120	
バルブ機構	ヘッドバルブ方式	
ピン(又はネイル)送り機構	フィードピストンバネ送り方式	
マガジン形式	マガジンキャップ開閉方式	
寸法	(H) 400× (W) 85× (L) 300mm	
重量	2.9kg	
ピン(又はネイル)装填数	50本	
使用空気圧範囲	15~25kgf/cm ² (1.47~2.45MPa)	
使用エアコンプレッサ	マックスエアコンプレッサ AK-HH809又はAK-HL809	
使用エアホース	内径5mm以上、長さ30m以内 マックスエアホース KH5×20、KH5×30	
使用オイル	タービン油I種ISO VG32 (JIS1号90番)	
安全装置	メカニカル方式、トリガロック、リリースバルブ	
付属品	部品	アタッチメントB、フック
	工具	ポンチ06
	その他	保護メガネ、ジェットオイラ (油入)

<使用ピン・ネイル>

種類	名称	用途	サイズ				
			製品記号	L(mm)	D(mm)	t(mm)	d(mm)
ピン	プラスチック コイルピン	間仕切りランナー止め等、薄鋼板のコンクリートへの取付け					
			CP-C822W8	22	φ8	2	φ3.8
			CP-C825W8	25	φ8	2	φ3.8
			CP-C830W8	30	φ8	2	φ3.8
			CP-C835W8	35	φ8	2	φ3.8
			CP-C840W8	40	φ8	2	φ3.8
			CP-C852W8	52	φ8	2	φ3.8
			CP-C825W8S	25	φ7.2	2	φ3.8
			CP-C830W8S	30	φ7.2	2	φ3.8
			CP-C835W8S	35	φ7.2	2	φ3.8
			CP-C840W8S	40	φ7.2	2	φ3.8
			CP-C852W8S	52	φ7.2	2	φ3.8
ネイル	プラスチック コイルネイル (コンクリート用)	胴縁止め等、木材のコンクリートへの取付け					
			CCP32V9-H(コンクリート)	32	φ6.5	1	φ2.9
			CCP38V9-H(コンクリート)	38	φ6.5	1	φ2.9
			CCP45V9-H(コンクリート)	45	φ6.5	1	φ2.9
			CCP50V9-H(コンクリート)	50	φ6.5	1	φ2.9
			CCP60V9-H(コンクリート)	60	φ6.5	1	φ2.9
			CCP65V9-H(コンクリート)	65	φ6.5	1	φ2.9
			CCP32W4-H(コンクリート)	32	φ7.4	1.5	φ3.4
			CCP38W4-H(コンクリート)	38	φ7.4	1.5	φ3.4
			CCP50W4-H(コンクリート)	50	φ7.4	1.5	φ3.4
			CCP32W8-H(コンクリート)	32	φ7.7	1.5	φ3.8
			CCP38W8-H(コンクリート)	38	φ7.7	1.5	φ3.8
			CCP50W8-H(コンクリート)	50	φ7.7	1.5	φ3.8
			CCP65W8-H(コンクリート)	65	φ7.7	1.5	φ3.8
			プラスチック コイルネイル (鋼板用)	厚鋼板(t3.2~t4.5) への木材の取付け			
CAP32W4-H	32	φ7.4			1.5	φ3.4	
CAP38W4-H	38	φ7.4			1.5	φ3.4	
CAP50W4-H	50	φ7.4			1.5	φ3.4	
CAP65W4-H	65	φ7.4			1.5	φ3.4	

5 用途とピン、ネイル選定基準

本機の用途には次のようなものがありますが、打込対象部材に合わせたピン、ネイルの選定と足長さの選定をしてご使用ください。

用途	種類	サイズ (足長さ)	使用アタッチメント												
薄鋼板のコンクリートへの取付け 例：間仕切りランナー止め	ブラシードコイルピン	 <p>薄鋼板</p> <p>コンクリートへの貫入量</p> <p>コンクリートへの貫入量が20~25mm程度になる様に選定してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">△ 注意</p> <p>●ネイルを薄鋼板のコンクリートへの取付けに使用しますと、ネイルがはねたり、曲がり易く危険ですので薄鋼板のコンクリートへの取付けには必ずピンをご使用ください。</p> </div>	アタッチメントA												
木材のコンクリートへの取付け 例：胴縁止め	ブラシードコイルネイル	 <p>木材</p> <p>2~5mm 沈む</p> <p>コンクリートへの貫入量</p> <p>コンクリート</p> <p>コンクリートへの貫入量が15~25mm程度になる様に選定してください。</p> <p>参考例</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>木材厚さ</th> <th>ネイル選定長さ</th> <th>コンクリートへの貫入量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>27mm</td> <td>38mm</td> <td>約13~16mm</td> </tr> <tr> <td>30mm</td> <td>45mm</td> <td>約17~20mm</td> </tr> <tr> <td>45mm</td> <td>60mm</td> <td>約17~20mm</td> </tr> </tbody> </table>	木材厚さ	ネイル選定長さ	コンクリートへの貫入量	27mm	38mm	約13~16mm	30mm	45mm	約17~20mm	45mm	60mm	約17~20mm	アタッチメントB
木材厚さ	ネイル選定長さ	コンクリートへの貫入量													
27mm	38mm	約13~16mm													
30mm	45mm	約17~20mm													
45mm	60mm	約17~20mm													
木材の厚鋼板への取付け	ブラシードコイルネイル (銅板用)	 <p>木材</p> <p>2~5mm 沈む</p> <p>貫通量</p> <p>厚鋼板</p> <p>厚鋼板からの貫通量が10mm以上になる様に選定してください。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">△ 注意</p> <p>●打込める厚鋼板の厚さは3.2mm~4.5mmの範囲です。この範囲外での使用はしないでください。</p> <p>●鋼板打ちでの打込み過ぎは極端に保持力が低下しますし、本機の耐久性も、落ちますので、作業の際には、打込状態を十分に確認し、圧力調整を行って作業してください。</p> <p>●厚鋼板へネイルを直打ちするとネイルがはねたり、曲がり易く危険ですので絶対にしないでください。</p> <p>●必ず射出口先端を部材に直角に押し当てて使用してください。</p> <p>●屋根、天井へは使用しないでください。</p> </div>	アタッチメントB												

6 使用方法

使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

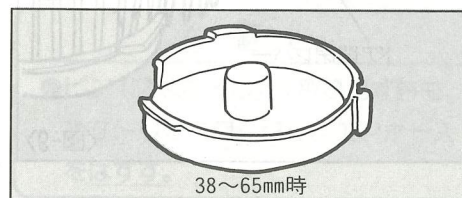
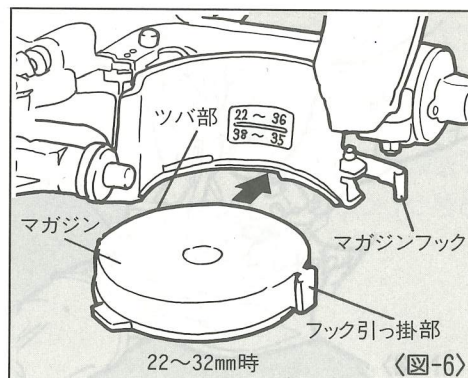
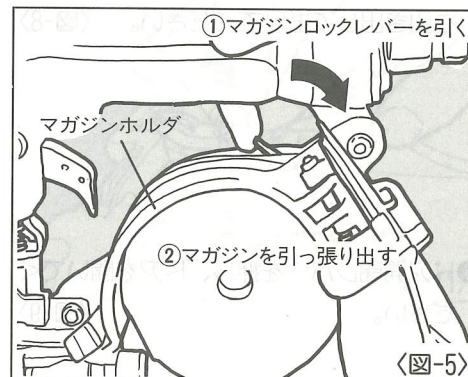
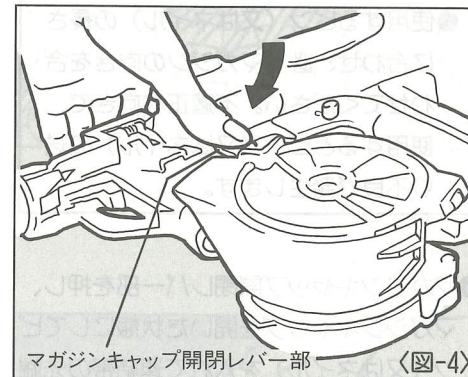
【ピン (又はネイル) の装填方法】

△ 警告

●ピン (又はネイル) を装填するときは、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

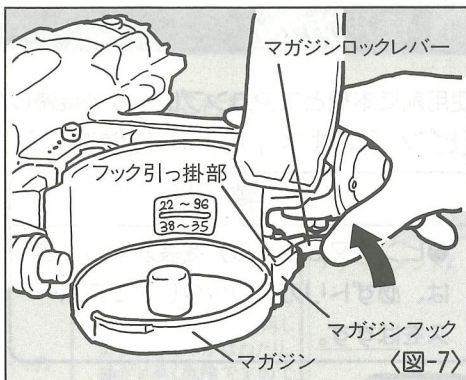
手順

- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②使用するピン (又はネイル) の長さに合わせ、マガジンの向きを合わせてください。まずマガジンキャップ開閉レバー部を押しマガジンキャップを開いてください。 〈図-4〉
- ③マガジンロックレバーを引いてマガジンより、マガジンフックをはずし、マガジンを手前に引いてはずしてください。 〈図-5〉
- ④次にご使用されるピン (又はネイル) の長さに合わせマガジンの向きを決め、マガジンのツバ部をマガジンホルダの溝に差し込み、マガジンのフック引っ掛け部にマガジンフックを掛け、マガジンロックレバーを押してマガジンを固定してください。 〈図-6〉〈図-7〉



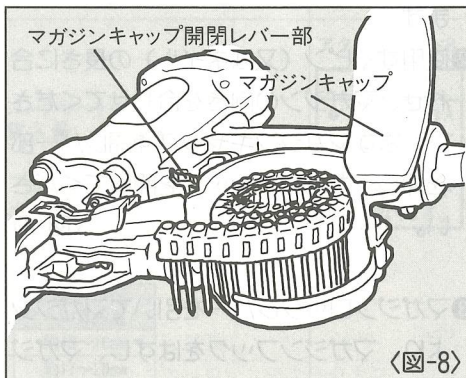
⚠ 注意

- 出荷時は22~32mmの向きにセットされています。38mm以上使用の時にマガジンを裏返してセットしてください。
- 使用するピン（又はネイル）の長さに合わせ、必ずマガジンの向きを合わせてください。不適正な向きで、使用するとピン（又はネイル）の送り不良が発生します。



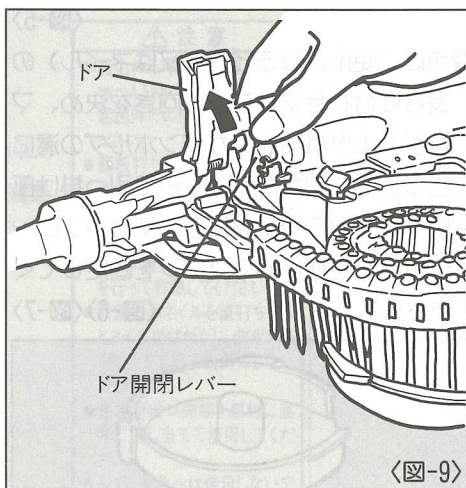
〈図-7〉

- ⑤マガジンキャップ開閉レバー部を押し、マガジンキャップを開いた状態にしてピン（又はネイル）を入れて連結帯の先端を引き出しておいてください。〈図-8〉



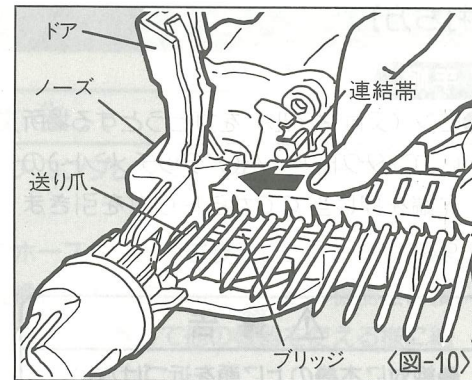
〈図-8〉

- ⑥ドア開閉レバーを押し、ドアを開いてください。〈図-9〉



〈図-9〉

- ⑦ピン（又はネイル）の連結帯をブリッジに添わせて押し込んでください。押し当った位置で止めてください。押し込みますと、送り爪がスイングして逃げ、先頭のピン（又はネイル）と2本目のピン（又はネイル）連結帯の間に入ります。その位置で押し止めてください。〈図-10〉



〈図-10〉

⚠ 注意

- 先頭のピン（又はネイル）の全体が、送り爪の前（ノーズ内）にきちんと入ったことを確認してください。

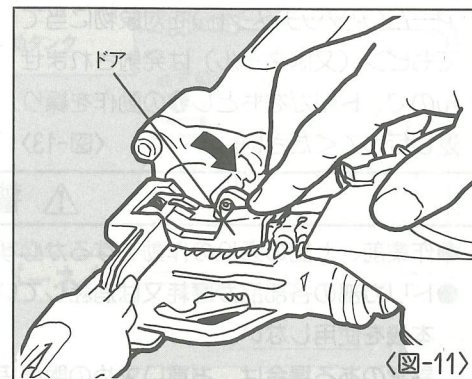
- ⑧ドアを指で押し、閉めてください。

〈図-11〉

⚠ 注意

- ドア開閉レバーがカチッと音がするまで強く押しってください。

- ⑨マガジンキャップを閉めてください。
- ⑩これで、エアプラグにエアチャックを接続すれば打込準備完了です。



〈図-11〉

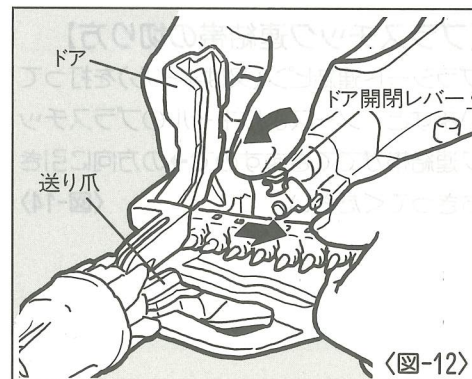
【ピン（又はネイル）の取り出し方】

本機よりピン（又はネイル）を取り出す時、ドア開閉レバーを押し、送り爪をスイングさせ連結帯を引き出してください。

〈図-12〉

⚠ 警告

- ピン（又はネイル）を取り出す時も、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。



〈図-12〉

【打ち方】

手順

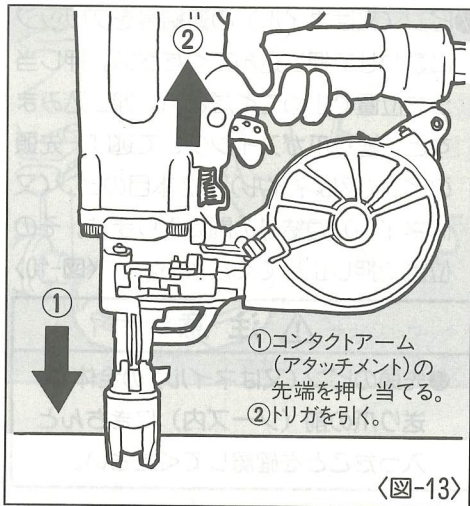
- ①ピン（又はネイル）を打とうとする場所にコンタクトアーム（アタッチメント）の先端を押し当ててからトリガを引きます。

⚠ 警告

- 絶対に本機の上に顔を近づけない。
打った時の機械の反動で思わぬケガをすることがあります。

- ②トリガを引いたままで、再度コンタクトアーム（アタッチメント）を対象物に当ててもピン（又はネイル）は発射されませんので、トリガをもどし①の動作を繰り返し行ってください。

〈図-13〉



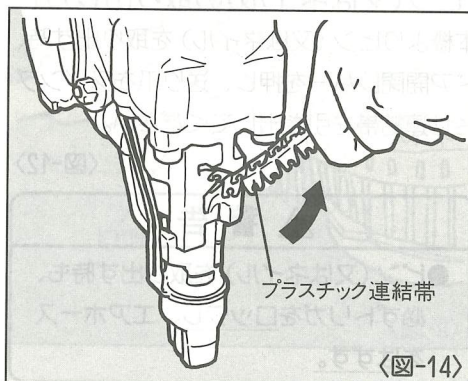
⚠ 警告

- 作業前、上記の通りの作動をするか必ず確認する。
- トリガ部の各部品が磨耗又は消耗していないか必ず点検する。異常がある場合は本機を使用しない。
異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス(株)へ点検・修理に出してください。

【プラスチック連結帯の切り方】

ブラシート連結ピン（又はネイル）を打っていますと、ノーズよりネイルのプラスチック連結帯がでてきますので→の方向に引きちぎってください。

〈図-14〉



7

配管についての注意

⚠ 警告

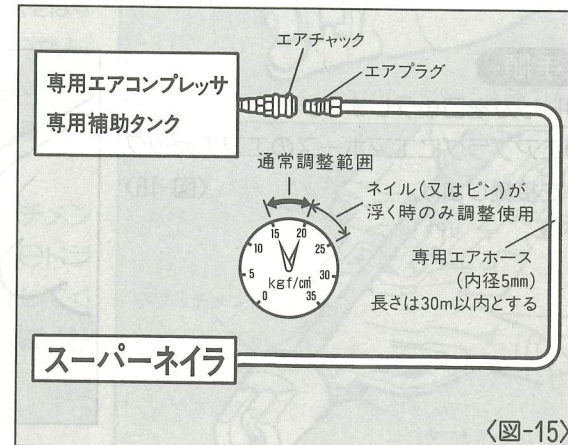
- 本機使用の際は、スーパーネイル専用エアコンプレッサ、専用エアホースを必ず使用する。

本機、専用エアコンプレッサ、専用エアホース共、エアプラグ、エアチャックが専用のものとなっており市販の物とは互換性がないので、他の機器との接続はできない仕様となっております。改造・加工等して他の機器を使える様に絶対にしないでください。

- ①動力源は必ずマックス専用エアコンプレッサを使用してください。高圧ガス（例：酸素・アセチレン等）等は絶対に使わないで下さい。

- ②接続するエアホースもマックス専用エアホースを使用してください。

〈図-15〉



8 エアホースの接続

⚠ 警告

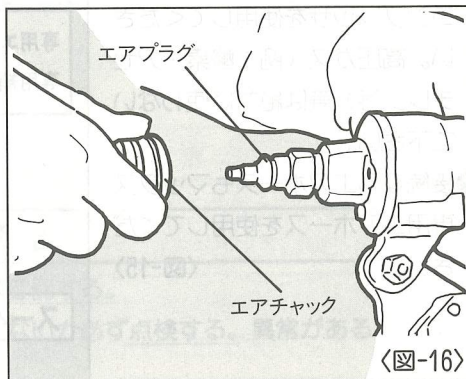
●エアホース接続の時は必ず厳守する。

エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

- 1.トリガをロックする。
- 2.コンタクトアームに触れない。
- 3.コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
- 4.射出口を人体に向けない。

手順

- ①トリガをロックします。
- ②エアプラグにエアホースのエアチャックを接続します。



⚠ 警告

- 作業中断時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

9 アタッチメントBの交換方法

本機には木材をコンクリート、又は厚鋼板に止める時に使用するアタッチメントBが付属品として同梱されています。交換方法は下記に従ってください。

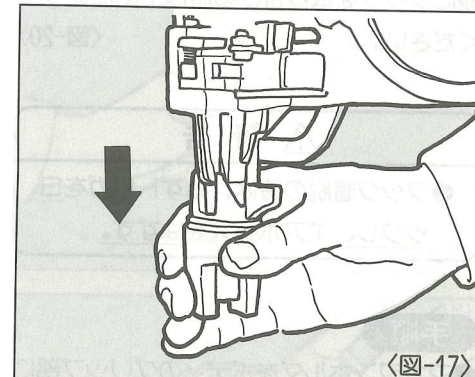
⚠ 警告

- アタッチメント交換の時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

手順

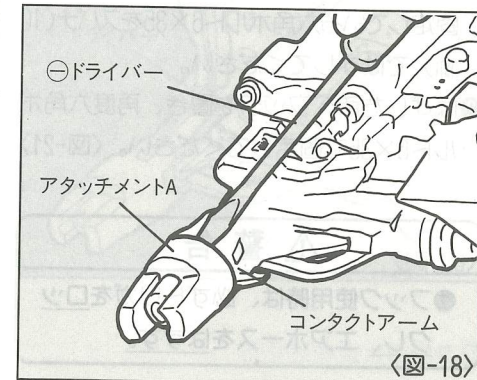
- ①出荷時付いていたアタッチメントAをはずします。アタッチメントAを手でつかみ、回しながら引き抜けばはずれます。

〈図-17〉



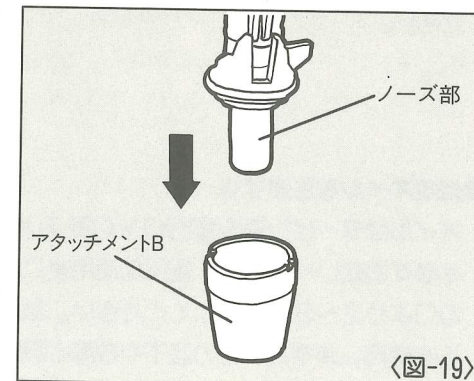
※ 渋くてはずれない場合にはアタッチメントAとコンタクトアームの隙間に⊖ドライバー等を差し込みねじってはずしてください。

〈図-18〉



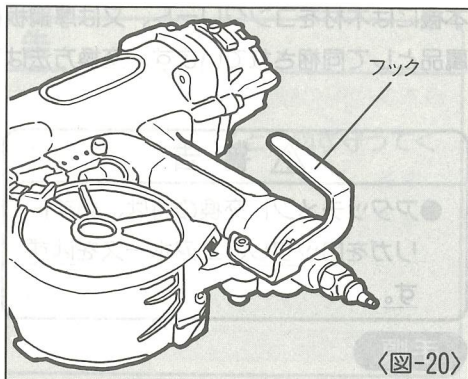
- ②アタッチメントBを下に置き、本機のノーズ部を差し込み、押し付けて挿入してください。

〈図-19〉



10 フックの取り付け方

本機には、足場等に引っ掛けてご使用できるフックが付属品として入っています。本機にフックを取り付ける時は下記に従ってください。〈図-20〉



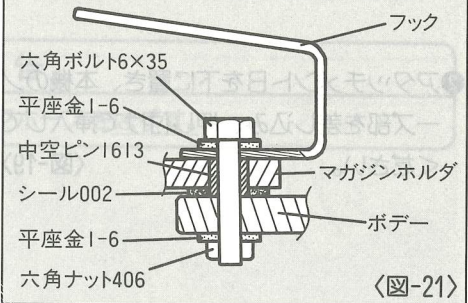
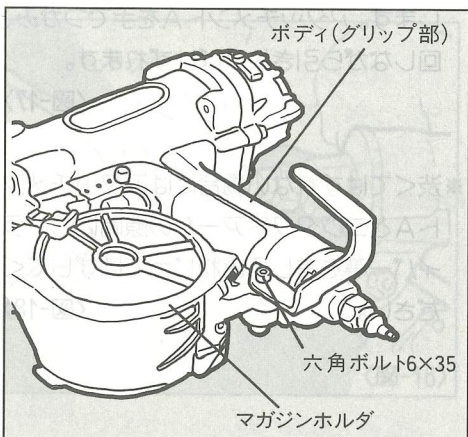
〈図-20〉

⚠ 警告

- フック着脱の時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

手順

- ①マガジンホルダをボディのグリップ部に固定している六角ボルト6×35をスパナ(10mm)ではずしてください。
- ②はずした所へフックを置き、再度六角ボルト6×35で固定してください。〈図-21〉



〈図-21〉

⚠ 警告

- フック使用時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

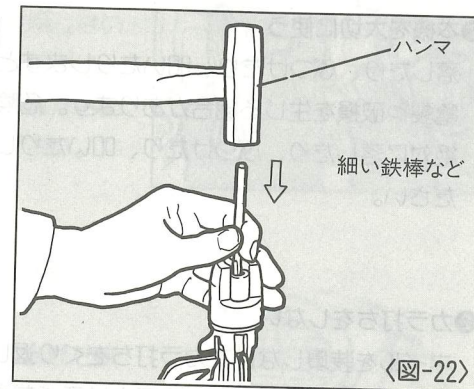
11 ピン又はネイルづまりの直し方

⚠ 警告

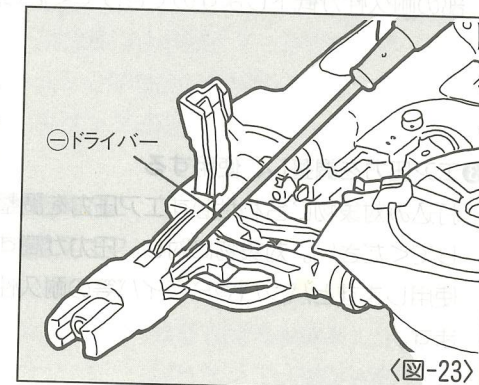
- ピン(又はネイル)づまりを直す時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

手順

- ①トリガをロックしエアホースをはずします。
- ②ピン(又はネイル)をマガジン内より抜き取ります。
- ③ドアを開き、射出口より細い鉄棒を入れ、ハンマーでたたきます。〈図-22〉
- ④ノズ内部につまったピン(又はネイル)を細い鉄棒や⊖ドライバーで取り除きます。
- ⑤ピン(又はネイル)を送り爪に再度確実にセットして、ドアを閉じます。〈図-23〉



〈図-22〉

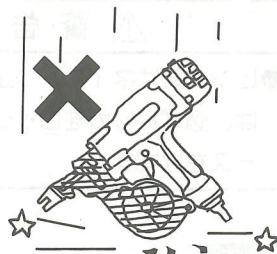


〈図-23〉

12 性能を維持するために

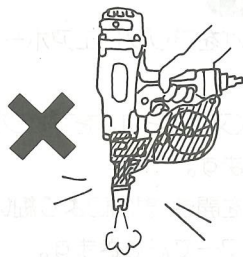
① 本機を大切に使う

落したり、ぶつかけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつかけたり、叩いたりしないでください。



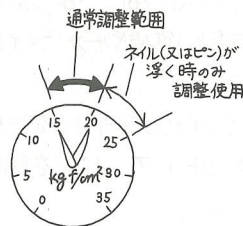
② カラ打ちをしない

ネイルを装填しないでカラ打ちをくり返し行くと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。



③ エア圧力を調整し、使用する

打込み対象物に合わせ必ずエア圧力を調整し、使用してください。対象物に対し、圧力が高すぎるまま使用するとバンパやドライバ等の耐久性が低下します。



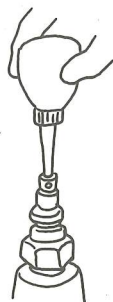
④ 本機の水抜きをする

作業終了時エアプラグを下に向け十分水抜きしてください。



⑤ 指定オイルを注油する

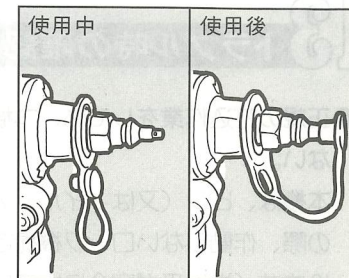
オイルはタービン油1種ISO VG32 (JIS1号90番)を必ずお使いください。使用前使用後にエアプラグの口より2~3滴注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。



⑥ エアプラグキャップの使用方法

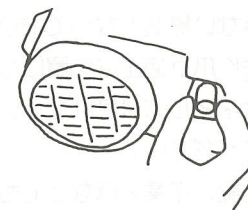
本機を使用しないときには、機械内部にゴミなど入ると故障の原因となりますので、本機を使用しないときはエアプラグにキャップを装着してください。

※エアプラグキャップは作業終了後、本機をさかさにして十分に水抜きをしてから装着してください。



⑦ エアコンプレッサのタンク、補助タンクの水抜きをする

エアコンプレッサのタンク、補助タンクに水がたまりと能力低下や故障の原因となりますので定期的水抜きをしてください。



⑧ 定期的な点検

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にお申しつけください。

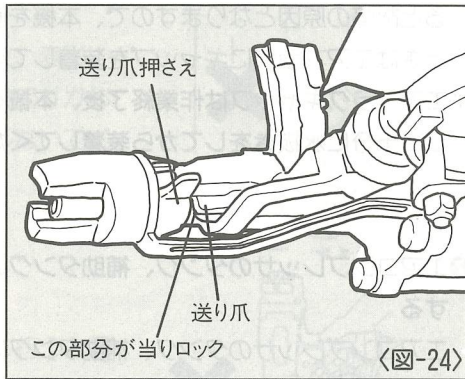
13

トラブル時の確認事項

●正規の打込作業をしても、本機が作動しない。

本機は、ピン（又はネイル）の送り不良の際、作動しないロック機構となっております。（送り爪が完全に出ていないと送り爪と送り爪押えが当り、打込作業ができない構造となっております。）〈図-24〉送り爪が適正な位置にない時はピン（又はネイル）を1度はずし、再セットし直してください。

上記、作業を行っても直らない場合には、お買い求めの販売店またはマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。



●正規の打込作業をしてもカラ打ちになる

作業中に、本機は作動するが、ピン（又はネイル）が実際に打ち込まれない場合には、下記の事を点検してください。

①ネイルが送り爪にきちんとセットされているか。

②ネイルがプラシートより脱落していないか。

※この場合は、空のプラシートを切断してネイルを再セットしてください。

③送り爪とフィードピストンが作動しているかどうか。

※作動していない場合は、エアプラグから5～6滴注油してください。

上記①②③を行っても空打ちがなおらない場合には、お買い求めの販売店またはマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。



この製品は、安全に使用するために、必ず取扱説明書をお読みください。また、本製品の修理は、必ずお買い求めの販売店またはマックスサービス㈱にご相談ください。本製品の保証期間は、ご購入日より1年間です。ただし、保証の対象外となる場合があります。詳しくは、お買い求めの販売店またはマックスサービス㈱にお問い合わせください。

マックスサービス㈱
〒100-0001 東京都千代田区千代田1-1-1
TEL: 03-5561-1111